

平成10年6月5日
原子力安全対策課
(10-24)
<15時30分記者発表>

新型転換炉ふげん発電所の原子炉自動停止について
(計画停止のための原子炉停止操作中)

このことについて、動力炉・核燃料開発事業団から下記のとおり連絡を受けた。

記

新型転換炉ふげん発電所（新型転換炉；定格出力16.5万kW）は、計画停止のため、6月5日9時31分から出力降下を開始し11時43分に発電を停止したが、原子炉出力がほぼ0%の状態であった13時47分に、「重水ダンプタンク水位低低」信号により「重水スローダンプ」の信号が発信し、カランドリアタンクの重水が重水ダンプタンクに排水され、13時48分、「重水水位低低」の信号が発信し原子炉が自動停止した。

なお、今回の停止による周辺環境への放射能の影響はない。

科学技術庁による国際原子力事象評価尺度(INES)の評価：0（暫定評価）

ふげんの設備概要

「ふげん」は、我が国が独自に開発した重水減速沸騰軽水冷却型原子炉の原型炉プラント（定格電圧）気出力16万5千kW）です。減速材に重水を使用していること及び原子炉の構造が圧力管型であることを除けばBWRと類似しています。

「ふげん」ブランドの主要諸元

[illegible]